

第11回 美保基地に係る意見交換会

平成29年6月10日（土）、航空自衛隊美保基地において第11回目の意見交換会を行いました。

意見交換会の概要については、以下のとおりですのでお知らせします。

- 1 日 時：平成29年6月10日（土） 9：10～10：20
- 2 場 所：航空自衛隊美保基地 基地講堂
- 3 出席者：
八東地区自治会連合会：会長、顧問、副会長及び各地区代表
島 根 県：防災危機管理課長、防災危機対策監、危機管理2GL、危機管理2副GL
松 江 市：政策部政策企画課長、政策係長、防災安全部防災安全課長、防災担当参事
松江市八東支所：支所長、地域振興課長、主幹
中国四国防衛局：企画部長、地方協力確保室長、室長補佐、企画調整係長、係員
美保防衛事務所：所長、次長
美 保 基 地：監理部渉外室長、基地対策専門官
中部方面総監部：防衛部防衛課編成班長、体制移行幹部、総務部地域連絡調整課渉外幹部
米子駐屯地：体制移行準備室建設幹部
傍 聴 者：松江市議会議員5名
- 4 報道機関：朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、山陰中央新報
- 5 概 要：
 - (1) 主催者（中国四国防衛局）挨拶
 - (2) 自治会連合会会長挨拶
 - (3) 出席者紹介（出席者名簿による）
 - (4) 意見交換会
 - ① C-2 関連施設整備の進捗状況等について
 - ② CH-47 関連施設整備の進捗状況等について
 - ③ 空中給油・輸送機KC-46Aの配備について
 - ④ 平成29年度予算案における美保基地の主要事業について
 - ・ KC-46Aの配備等について



▲ 意見交換会の様子

- ・ C-2の配備等について
- ・ YS-11の用途廃止について
- ・ 第41教育飛行隊の移動について
- ・ 美保基地の定数について
- ・ 空自美保基地における陸自ヘリコプター（CH-47）の配備について

⑤ 基地周辺対策事業に係る説明

⑥ 美保飛行場周辺の航空機騒音状況（4～5月）について

⑦ 陸上自衛隊からの説明

⑧ 基地の任務・概要等について

⑨ 訓練飛行経路等について

⑩ C-2の今後の運用について

(5) 質疑応答

- （意見交換会開会前）航空自衛隊美保基地監理部長から、昨日（6/9）発生したC-2の滑走路逸脱事案について、概要説明及びお詫びの挨拶。

6 質疑応答：

自治連会長：



昨日の美保基地における滑走路逸脱事案に関し、さきほど県と市が申入れを行い、同様に自治連からも申入れをさせて頂いた事を改めて報告する。

現在日本を取り巻く国際情勢はどのようになっているのか。

宮川部長：

北朝鮮情勢に関しては、報道でもあるように弾道ミサイルの発射や核実験を繰り返し行っている。防衛省は、弾道ミサイルに対しては2段構えの体制を構築している。一つは、イージス艦にSM-3といった迎撃ミサイルを配備し、2隻で日本全域をカバーできるようにすることとしている。これに加え、地上においてPAC-3を展開することで地上に接近するミサイルを打ち落とすこととしている。

なお、弾道ミサイルに対しては、イージス艦によっておおよそ対処が可能となっている。

自治連顧問：

報道によると、昨日（6/9）のC-2の滑走路逸脱事案を受け、本件の原因が究明されるまでは（C-2）3機の飛行を行わないとしているが本当か。

須田室長：

そのとおりである。

自治連顧問： 原因が解明されれば、県、市及び地元にも説明をお願いします。

続いて、地域振興についてである。意見交換会において地域振興策の要望を出しているが、昨年度末の八束町波入地区への常時騒音測定装置設置は、まさに意見交換会の成果であると考えており、感謝している。



。地元と基地との交流で言えば、先月の美保基地航空祭において八束町から産直市を出店し、好評であったと聞いている。是非このような機会を今後もお願ひしたい。

また、八束町から松江市に対して、4月に防衛の補助事業について要望書を提出しており、こちらも実現していただきたいと思う。八束町全体の防災計画を踏まえての整備を今後も要望していきたいと思っており、計画性をもって整備していきたいと考えている。

ただ、環境整備法8条はハード面への補助項目である。最近では建物を新たに建設する時代ではなくなってきたため、ソフト面の事項への対応も、制度として検討していただきたい。実際、松江市では公共施設適正化計画で建物は可能な限り減らしていく方針になっているため、柔軟な対応をお願いします。

宮川部長： 周辺対策に係る要望については、地元の御意見をよく伺いながら、松江市を通じて調整させていただくこととする。同法の8条は、現時点においては建物等の整備に係る助成の規定となっている。ハード面であっても、例えばリニューアル（改修）工事やバリアフリー工事といった対応が可能である。ただ、全国的にも同様にソフト面での対応について要望をいただいている状況であり、本会においても強い要望があった旨、本省へ伝えさせていただく。

須田室長： 先日の航空祭は天候にも恵まれ、約5万人の方々に来場を頂いたところである。良い取組み（産直市の出店）ができたものと基地も判断している。来年以降も、また他のイベント等においても交流を深めてまいりたい。

自治連副会長： 私が子供の頃、美保基地がつくられ、八束町の大塚山では「美保基地反対」の集会が開かれていたのを記憶している。近年は民生的な面で協力いただいております、感謝申し上げます。最近の国際情勢等をみると、北、中、米、韓等の間で状況が混乱しているが、今後も自衛隊の皆様には絶対に「力には力で」といった対応を取らないで頂きたい。北朝鮮の動向には腹が立つが、日本の自衛隊に

よる武力拡張や攻撃は絶対にしないで欲しい。あくまでも説得、話し合いによる対応をお願いする。

美保基地に関して懸念があるのは2点である。1点目は、騒音の問題である。こちらは、C-1からC-2となったことで、大きさによる威圧感はあるものの音は緩和されたように感じる。2点目は事故の問題である。航空機は我々の



真上を飛行しており、仮に墜落でもすれば一大事である。万が一、有事となった場合、美保基地はベトナム戦争時の沖縄のようになるのか、どのような立場に置かれるのかが懸念される。自衛隊の皆様には、あくまでも話し合いでの解決をお願いする。

宮川部長： 安全保障というのは、武力だけでなく、外交、経済、文化などによる総合力であると考えている。その中で、自衛隊は「専守防衛」が基本であり、まずは侵略する気持ちを起こさせない、そして万が一侵略された場合に対処する最低限の防衛力を整備することが自衛隊の役割・任務であると考えている。

なお、美保基地はあくまでも輸送基地であることをご理解いただきたい。

自治連： RWY 07とRWY 25の年間の比率はどの程度か。

(亀尻副区長)

須田室長： 正確な数字は持ち合わせていないが、約6～7割がRWY 25（西風）であったと記憶している。ただし、5～6月などは1日の中での変化が多く、海風や山風により風向が午前と午後で変化することもある。

松江市： 昨日（6/9）のC-2滑走路逸脱事案のような事が発生した場合における連絡体制を、国と関係自治体との間できちんと構築したいので協力をお願いする。我々が情報を頂かないと地元への情報提供ができない。

また、陸上自衛隊のCH-47配備に関し、飛行経路や飛行形態等の情報提供を自治体や地元へ速やかにお願ひしたい。情報提供の目安はいつ頃か。

須田室長： 国と自治体との連絡体制の構築については承知した。

津田班長： CH-47の美保基地配備については、現在、最終的な調整段階にあり、調整ができ次第、情報提供をさせていただく。

松江市： 決定事項の情報提供ではなく、地元との調整もしっかりしていただくよう宜しくお願いする。

以上